

<HP 公開用>

九州ルーテル学院2021年度第2回モニター会議(書面会議)記録

2021年3月、2021年度第2回学院モニター会議(書面会議)が開催された。
※今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面会議にて執り行った。

1. 学外モニター委員：6名

2. 学院モニター会議の目的

- ・学院全体について、各界や各立場、年齢層の方々からご自由な意見をいただき、地域社会の動きや学院への期待を察知し、今後の学院の在り方に活かす。
- ・外部からの視点や環境変化を肌で感じ、教職員が一体となってルーテルブランドの構築を目指す。

3. 書面会議の内容：①新学長・新校長・新保育園長に対する期待 ※2022年4月1日より、新学長：松本充右、新校長：鶴山克郎、新保育園長：雪野啓子が就任 ②学院への期待・学外から見た本学院の評価・ミッションスクールとしての役割等について

4. 学院モニター会議での主なご意見(学外モニター委員)

| 委員 | ① 新学長・新校長・新保育園長に対する期待 | ② 学院への期待・学外から見た本学院の評価・ミッションスクールとしての役割等について |
|-----|--|---|
| 委員1 | <p>(新学長に対して)</p> <p>・「ルーテル学院大学からの実習生は職員室内でも、とても評価が高いです。よく学んでこられているという印象が強いです」とは、娘の小学校の担任の言葉です。当時、ルーテル学院中学を受験するかどうか考え始めていた矢先、担任の先生とお話する機会があり、そのときに大学の印象をお話いただきました。「大学では、ひとりひとりしっかりと指導が行き届いている。その丁寧さが他の実習生にはない強みではないか。」その「ひとりひとりに寄り添う」基礎の部分を大事に、時代に応じた専門性を身に付けられるような大学を期待します。</p> <p>(新校長に対して)</p> <p>・鶴山先生のご説明の仕方は、子どもにも安心でき、かつわかりやすく話がすっと入り込むような感じます。タブレットなどにも興味が深くいらっしゃるので、動画(Instagramを利用したインスタライブ、Youtube)などで、先生ご自身が中高の良さ、新しいプールの紹介などをされるのも、受験生にとってはわかりやすくなるのではないかと思います。また、先生ご自身が出演されることで、親しみやすさも挙がるのではないかと思います。</p> <p>(新保育園長に対して)</p> <p>・コロナ禍もあり、今は難しいかもしれませんが、黒髪乳児保育園とルーテル学院幼稚園との保護者交流会や幼稚園の給食試食会などを開催することはどうでしょうか。幼稚園の保護者でも黒髪乳児保育園のことを良く知る人は少ないように思います。繋がりが出来るようになると良いのではないのでしょうか。</p> | <p>・幼稚園の卒園感謝礼拝の際に保護者より聞きましたことは、「ルーテルに小学校があれば良いのに」という言葉でした。この環境の中で、幼稚園の持つ安心感そのままの小学校の設立があると嬉しいです。ルーテルならではの特徴がある小学校であれば、より魅力的になると思います。</p> <p>・幼稚園には10年、15年とお子様の人数によっては長い間通われます。保護者の方も親しみやすさをこの場所にお持ちになると思います。その通われている間に、今までよりもわかりやすい連携がとられると、サマースクールなどのPR、大学の公開講座など、受験につながるようになると思います。</p> |
| 委員2 | <p>(全員に対して)</p> <p>・これまでの特色ある活動の継承や時代に応じた改革、発信力の強化などを期待いたします。</p> | <p>・長い歴史の中で築かれた「九州女学院」のイメージから「九州ルーテル学院」へのイメージ移行、あるいは卒業生の融和に苦慮されている話が前回会議で出ました。そういったご苦労があるのが意外でしたが、そう言われると確かに「九州ルーテル学院」としての個性の確立がまだ十分ではないのかなとも感じます。</p> |

| | | |
|------|--|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・高校の運動部や大学のダウン症支援部、自閉症支援部など、好成績や特色ある活動で全国的に評価されていることなども、もっと県民に広く知ってほしいなど、ルーテルファンとして望んでいます。そういった外部からの評価が自ずと「九州ルーテル学院」としての新たなイメージ醸成につながるのではないのでしょうか。 ・ミッションスクールとしての役割も期待しています。クリスマスの点灯式などの素晴らしい行事と共に、宗教を学ぶ学生・生徒達が地域とどう交わって活動しているか、などの様子がもっと表に出ると良いのかもしれないね。 |
| 委員 3 | <p>(全員に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ5～6年の中で、学院、保育園、大学、こども園、各々「節目の周年」を迎えます。社会全体としては少子高齢化の流れの中で、一段と魅力ある「一貫した学院」を目指してもらいたいと期待しています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・伝わりくる風聞としては「評価が高くなっている」との声を聞きます。今後、ミッションスクールとしての特徴をベースに「文武両道」を目指した学院として、有為な人材を輩出してもらいたいと思います。 |
| 委員 4 | <p>(全員に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語と言えばルーテル、ルーテルと言えば英語となるようなブランディング（卒業後の見通しも可能な限り明確に） ・コロナ禍で希薄になった生徒同士・保護者と学校のコミュニケーション強化の取り組み（愛校心の醸成） | <ul style="list-style-type: none"> ・学外の機関や企業へ、ルーテルでは、どのような生徒を育成しているかの配信強化。 ・TSMCなどの大手企業進出に伴う英語教育機関としての展開の検討。 |
| 委員 5 | <p>(全員に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい状況が見込まれる中、大きな責任を担ってくださることを感謝します。人にも組織にも、他と異なる個性が益々重要になると思います。学生・生徒・園児たちの個性の輝きを守り、育て、励ますお取り組みがなされるように、そして、個性の光る学院であるように、お力を尽くしていただけますと幸いです。 ・個性の中身は色々あると思いますが、やはり当学院はキリスト教を土台とするところに特色があります。この点でのご苦勞も察しておりますが、キリスト教の信仰をお持ちでない先生方だからこそ、キリスト教とそれを土台とした学院の歩みを客観化し、また深めていくための眼差しを注ぎ、探求なさることへの可能性がとても豊かであろうと期待しています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・100年事業を始めとし、教育活動もそれ以外の活動も、そのひとつひとつが設立理念を表現するものであるように努めることが、学院の個性を保つことになろうと思います。財務的な観点はあることは申し上げるまでもありませんが、それでもそれを最優先にする社会一般と一線を画す、設立理念を担う誇りを教職員の皆さんが持ち続ける学院であることを期待しています。 ・「感恩奉仕」を生きることの喜びをわかちあうことは自ずと学院とその取り組みにより、地域に貢献することに繋がるように思います。学生・生徒たちへはもちろんのこと、学院として地域社会の今と明日へ「感恩奉仕」を分かち合うことも、委ねられている役割であるように思います。 |
| 委員 6 | <p>(全員に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100周年事業、コロナ禍となかなか難しい環境になると思いますが大切な時期になりますので感染対策は行いつつ、しっかり学外にもルーテル学院は100年を迎えると伝える取り組みを行ってほしいと思います。 <p>(新学長に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他企業などと提携してボランティア活動や各機関や学校と包括協定を結び、ルーテルではこんな強みがあると言う事を発信してほしいと思います。 <p>(新校長に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活での活躍やオンラインを上手に使用した学習環境を確保してほしいと思います。 <p>(新保育園長に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休園の場合でも、オンライン（Zoom等）での子供達の見守りや茶話会などが実施できたら子供達の心のケア、また親御さんの心身のサポートにもつながると思います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・100周年事業を無事に成功させると言う事につきますと思います。そのためには、一番資金集めが必要になると思います。 ・個人的には体育館を2階にして1階をプールにした全ての学生が使用できる運動施設が理想ですがなかなか難しいと思います。とにかくにも4年後に控える100周年に向けた取り組みはとても大事になると思っています。 ・地道ではありますが募金活動やラッピング電車を走らせるラッピング電車にも募金箱を設置、新施設に一口城主ならぬ一口学院主みたいなのを設けるのも良いかなと思います。 |